

2019年度事業報告書

法人の名称 **特定非営利活動法人 WE21 ジャパンみなみ**

1. 事業の成果

事業基盤である資源のリユース・リサイクルを推進する事業については、WEショップみなみのボランティア、会員、品物の寄付者、買い物のお客様など多くの市民の参加を得て、月次目標を達成すべく活動を続けました。しかし、2020年2月よりは、新型コロナウイルス感染が日本国内外で拡大し、WEショップの運営もその対策に追われることになりました。3月には臨時休業、イベントの延期などを行いましたが、予定していたフェアは、ボランティアと運営スタッフのショップへの思いに支えられて実行でき、ショップ事業高は5,907,720円（予算比98.5% 前年度比97.7%）、前年には及ばなかったものの、最終的に年間で822,421円の民際支援・募金ができました。また、衣類・食器等のリユース・リサイクルに加え、使用済みの天ぷら油のリサイクル活動にも取り組みました。

アジアの女性・市民の自立支援事業については、インドのNGO・DRCSC：開発調査コミュニケーションセンターの「気候正義に関するDRCSCの既存プロジェクトの追加活動」、パレスチナ「ガザ地区子どもたちの栄養改善事業」、イラクの「小児がんの子どもたちの医療支援」の募金活動など、継続して支援を行うとともに、新たに、ミャンマーの「少数民族の保育園建設による自立支援」なども実施しました。また、もう一つの海外支援として、フェアトレード品の販売も実施しました。国内支援では、震災復興「11日サポートデー」の取り組みや3月の震災復興サポート週間を実施、東北・熊本の震災支援を継続しました

地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業については、民際支援に関するWE講座開催の他、10月に貧困なくそうキャンペーンを実施、WEショップみなみ店頭において、支援先の事業に関する掲示を行いました。

2. 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

内 容：リサイクルショップ「WEショップ・みなみ井土ヶ谷店」の運営

日 時：通年（年間営業日数 258 日）

営業時間 平日 10：30～17：00

土曜日 13：00～17：00（第2土曜日休業）

場 所：横浜市南区

従事者人員：運営スタッフ 6 人 運営委員 2 名 ボランティア 30 人

対 象 者：地域住民

支 出 額：4,394,132 円

(2) アジアの女性・市民の生活向上と自立のための活動を支援する事業

内 容：

① アジア地域において、女性・市民の生活向上と自立のための活動をしている団体への助成や寄付をしました。

・インドのNGO・DRCSC：開発調査コミュニケーションセンター

気候正義に関するDRCSCの既存プロジェクトの追加活動：250,000円

日 時：3月

・認定NPO法人日本国際ボランティアセンター（JVC）

パレスチナ・ガザ地区子どもたちの栄養改善事業：80,000円

- 日 時：3月
- ・認定NPO法人日本国際ボランティアセンター（JVC）
アフガニスタン地域教育/識字アクション：30,000円
 - 日 時：3月
 - ・認定NPO法人地球市民ACTかながわ/TPAK
ミャンマー少数民族の保育園建設による自立支援：25,000円
 - 日 時：10月
 - ・一般社団法人平和村ユナイテッド
パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連携：50,000円
 - 日 時：3月
- ②東日本大震災及び熊本地震復興支援のための募金活動をするとともに、毎月「11日サポートデー」を継続して取り組み、その日のリサイクル品の売り上げを寄付しました。
- ・認定NPO法人カタリバ
コラボ・スクール(被災した子供たちのための放課後学校)：224,000円
 - 日 時：10月、3月
- ③台風19号被災者支援のため、募金活動や緊急支援を行いました。
- ・公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン
台風19号被災子どもサポート緊急支援：45,000円
- ④アジア地域における女性・市民の生活向上と自立のため、募金活動を行い、以下の団体に寄付しました。
- ・JIM-NET(日本イラク医療支援ネットワーク) チョコ募金：77,000円
 - 日 時：12月
 - ・認定NPO法人日本国際ボランティアセンター（JVC）
アフガニスタン地域教育/識字アクション&ピースアクション：41,421円
 - 日 時：3月
- ①～④
- 日 時：内容の欄に各々記載
- 場 所：横浜市南区
- 従事者人員：運営委員7人、ボランティア30人
- 対 象 者：アジア地域の女性市民、東日本大震災地域の市民、
台風19号被災地域（福島県・宮城県）の市民
- 支出額：内容の欄に各々記載
- ⑥インドの支援事業のモニタリングの実施
- 日 時：1月30日～2月6日
- 場 所：インド
- 従事者：運営委員1人
- 支出額：75,000円
- ⑤アジア地域における女性・市民の生活向上と自立のため、及び東日本大震災復興支援のため、フェアトレード品や復興支援グッズの販売をしました。
- 日 時：通年
- 場 所：横浜市南区
- 従事者人員：運営スタッフ6人、運営委員2人、ボランティア30人
- 対 象 者：アジア地域の女性市民、東日本大震災地域の市民
- 支出額：299,812円
- 支出額合計：1,280,731円

(3) 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

内 容：

- ① 「WE講座」「WEサロン」の開催
世界的な視点からさまざまな問題や支援先の活動について学び、理解を深めるため、支援先報告会や学習会を実施しました。
- ② 「エコぞうり講座」の開催
古布でぞうりなどをつくることを学びながら、WEショップの使命である環境問題や海外支援への理解を深めました。
- ③ 「貧困なくそうキャンペーン」の開催
支援活動を地域にアピールするとともに、アジアの貧困問題について学ぶ企画を提供し、自分たちの暮らしを見つめ直す啓発活動をしました。

日 時：

- ① 「WE講座」の開催
7月18日 フェアトレード・ジンジャーティを学ぼう
9月24日 ミャンマー少数民族の保育園建設による自立支援
- ② 「WEサロン」の開催
5月17日 地域活動を広げる
- ③ 「エコぞうり講座」の開催
4月13日、6月22日
- ④ 「貧困なくそうキャンペーン」
10月1日～17日

従事者人員：運営委員7人 会員5名

対 象 者：WE21 ジャパンみなみの会員、ショップボランティアおよび地域の人たち

支 出 額：52,018円

(4) この法人の事業の広報普及を図る事業

内 容：

- ①WE21 ジャパンみなみのリユース・リサイクル事業及び民際支援事業を紹介するため、「WEショップみなみ通信」を発行しました。また、提携するWE21 ジャパンの情報紙を合わせて配布しました。

日 時：7月、11月、3月

場 所：横浜市南区

従事者人員：運営委員7人

対 象 者：WE21 ジャパンみなみの会員、ショップボランティアおよび地域の人たち

支 出 額：14,520円

- ②NPO法人設立10周年記念誌を2019年5月に発行しました。

日 時：5月

場 所：横浜市南区

従事者人員：運営委員7人

対 象 者：WE21 ジャパンみなみの会員、WE21 ジャパングループ地域NPO

支 出 額：140,158円

支出額合計：172,833円

以上